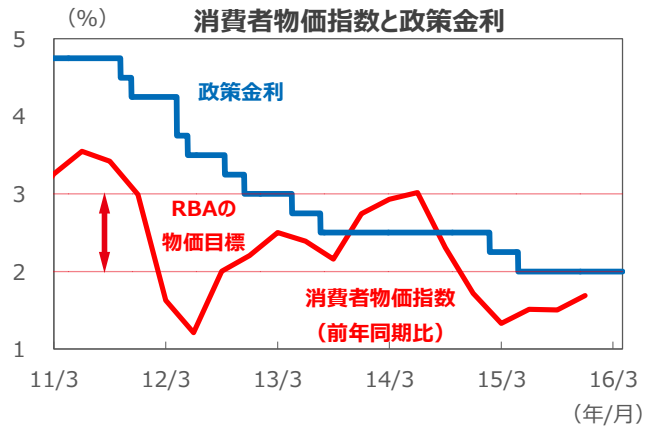


今日のトピック

## 豪中銀、前回に続き政策金利を据え置き

### ポイント1 過去最低の2%を維持 インフレ見通しも維持

- オーストラリア準備銀行（RBA）は4月5日に開催した政策会合で、政策金利を2.00%に据え置くことを決定しました。ブルームバーグ社の集計によると、エコノミスト26名全員が据え置きを予想していました。
- インフレについては、これまでと同様、賃金の伸びや海外の物価が抑えられる状況が続くため、今後1年から2年は低位にとどまる、との見方が示されました。



(注) 消費者物価指数は2011年1-3月期～2015年10-12月期。  
政策金利は2011年3月31日～2016年4月5日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 金融市場は安定化 豪ドル高に警戒感

- 前回、前々回の会合では、新興国経済の先行きに対する警戒感の高まり、それによる金融市場の混乱について警戒的な見方が示されましたが、今回は「金融市場をめぐる不安感は後退しつつある」とされました。
- ただ、最近の米ドルに対する豪ドル高については、資源価格の上昇や、海外主要国の緩和的な金融政策によるものであり、国内経済に悪影響を及ぼす可能性を指摘しました。



(注) データ期間は2014年11月3日～2016年4月5日。(年/月)  
2016年4月5日は日本時間16時時点のレート。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 低インフレなどから、当面のところ政策金利は据え置きの見通し

- 豪州の景気については、設備投資の不振を個人消費の拡大で補い、緩やかな回復を続けると予想されます。賃金の伸び悩みや資源価格の下落などから、インフレは当面、低位で推移する見通しです。
- 先に述べた通り、最近の米ドルに対する豪ドル高に対して、RBAは警戒姿勢を見せていますが、緩やかな景気回復と低インフレを踏まえ、当面のところ政策金利を据え置く可能性が高いと見られます。

### ここもチェック! 2016年3月10日 最近の指標から見る豪州経済 (2016年3月) 2016年3月 1日 豪中銀、政策金利を据え置き

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。